



さくら小 とくの日だより



令和7年2月19日 No.10



校内授業研究会が行われました。 6年1組の授業を紹介します。



彩の国の道徳「わたして何？」という教材で授業を行いました。ひどい言葉を友人から自分に向けられてしまい、自分の存在意義について悩む主人公の気持ちを中心に話し合いました。グループの友達と話し合ったり、意見を比べたりすることで考えを深めることができました。かけがえのない「命」の大切さについて考える良い機会となりました。

さくらファミリーデー



11月に行われたファミリーデーでは、「家庭用彩の国の道徳」「彩の国の道徳—未来に生きる—」「道徳のまちさって」から、ご家庭で話し合ってくださいました。これらの埼玉県や幸手市の郷土資料を授業で活用することで、子どもたちが自分たちの郷土に誇りをもち、生活していくことができるようにしていきます。

お家で書いていただいた内容を紹介します。今回は、5・6年生から紹介します

家庭用彩の国の道徳「ありがとう」を読みました。

由美は行きバスの走行中に席を立ち両替機を使おうとしたことを運転手さんから注意されてはじめて「かしい思い」をしました。小銭がない場面では不安からこうした行動を取りがちです。運転手さんも注意した後には「言い方が強かったか」と思い返すかもしれません。帰りのバスでお母さんが来るまで中で待たせてくれたこと、由美のこを、さりげなく見て心配していたのでしょう。人の一面だけを見て

判断せず。人の良い所もたれずに選べたらいいですね。

幸手のために自分の命を犠牲にしている、おたしたらたらほかの人に
おてもらいたくない死にたくなくて絶対やらないのに、子どもをおいて
こうしてまで川とどみこんですごいいいと思いました。
次に権現堂に行ったときおておたいてお

「ありがとう」を一緒に読んで、人は最初の印象で「その人が」
どんな人かを気おしてしまう事があるので、そうならないように
色々な面を見てその人の良い所、悪い所をわかるように
していこうとお話し合いました。

夕展を一緒に作りながら学校の事を聞きました。
楽しい出来事をいっぱい聞いて二人で楽しい時間を過ごせました。

「わたしって何」を言読んで。
・たとえ冗談としても、人を傷つけるような言葉は普段から使わない様に気を付けてい
・嫌な所があるなら、陰で悪口を言うのではなく、直接伝える方が良いと思う。
・人から嫌われているかもしれないと思った時、自分を本当に大切に思ってくれている
家族や友人が1人でも居れば良いと思ってきりがえる。
など、1つの考えおからでもたくさん考えられる事がありました。去年までは話が一方向進行に
なりがちだったけれど、子供からもどんどん意見が出てきて、成長を感じる機会になりました。

「わたしって何」を読みました。最近、SNS等でも面白いの意味を
はきちがえて投稿して問題になっているように、面白い、笑いの為
に誰かを傷つけていいとは思わないという事を話し合いました。
皆それぞれ大切にしてくれる人は必ずいるので、相手と向き合う時も、
もちろん、自分自身も大切にしていこうね、と考えました。

「ありがとう」というお話を言読んで、最後の場面で親子は、
運車お手の方に、心の中で「ありがとう」ともう一度言ったのではないか
と思いました。
道徳という学びを通じて、「ごめんなさい」と謝る人よりも、「ありが
とう」とお礼が言える人・言ってもらえる人に私自身なりたいてすし、子供
にもなっていって欲しいです。

裏面にもあります。

道徳の教材で学んだことと、学校生活を このように関連付けて指導しています

○教材名「ちょっとひどくない？」【彩の国の道徳】

5年生では、普段の自分の言葉づかいについても振り返り、礼儀正しい言葉遣いについて考えを深める
ことができました。普段の学校生活でも、正しい言葉遣いについて考えさせるようにしています。

○生命の尊重に関連する授業

6年生では、「命の授業」で、生命の誕生や新生児の世話などについて学び、「がん教室」では、がんに
ついての学習をしました。命の尊さについて学ぶ機会となりました。

「わたしは何」を読みました。このお話には、人を傷つて悲しい気持ちにさせる言葉と、人を喜ばせて優しい気持ちにさせる言葉が出てきました。人を傷つた言葉は、あとから謝っても悲しい気持ちを元に戻す事はできないので、自分の発言で「相手の」という思いから考えから言葉を伝える事が大切だと親子で話し合いました。

〈わたしは何〉を家族みんなと一緒に読みました。誰かを傷つけるようなことを直接言ってしまうことはもちろん、紙に書くことも決してしてはいけないことだねとお話ししました。この機会に、主人と私から子どもたちに文を通して、「家族の宝物だよ」と伝えることができました。

言葉は、相手を勇気づけたり、元気づけたり、嬉しい気持ちにしたり出来ます。でも、使い方を間違えると、相手を傷ついたり、悲しい気持ちにさせてしまう事があります。でも、相手と素直な関係を作るには、相手の事を考えて話さないとイケないね。

子供の成長を見る度に、親の私がいつも子供から教わり、自分を見つめさせられる機会を作ってもらっているような気がします。親は子供に求め、結果を求め、でも、涙して抱きしめる瞬間は、子供が努力した姿が目に見え、心が揺るぎます。彩の国道徳を読み、子ではなく、私が見つめ直し、感じる事が沢山ありました。死の持久走大会…ワーストよりだった子が、中間の子達に離れずゴールした瞬間、涙で視界が見えなくなりました。決していい結果ではなかったけれど、子の努力と喜ぶ姿に、元々、お見子もうんと抱きしめたいと強く思いました。親の私も頑張らなければ

学校の出来事を本人から話をしたり、私(母)の方から聞いたります。苦手な教科や行事があると次の日かやううつになるようです。嬉しい事があると、すごく楽しく話をしてくれ、何か悩み事や心配な事があれば、話を聞いて、先生に相談があればその時に連絡しよう

「わたしは何」を読んで、自分はその気になく使っている言葉でも時には人を傷つけてしまうことがあるということが分かりました。

また、家族は自分のことを大切に思っていることを忘れず、がんばっていきなさいなと思いました。

はなれていたら、友達ではないではなく、オンラインなどでも
気持ちちは伝えられるから友達でいられると思ひました。

読んだ本「はなれていても」

母娘「順光」を読んで

春に仔子と我が家も桜を見に行きます。権現堂の印象は、春夏秋冬どの季節に
行っても花がとてきれいと物々順光の石碑はあの子のほしてほしたか、どんな意味で
おいてあの子か知りませんでした。の人身御供を、あの権現堂の堀堤を王づくことか
どをたてて、とて、おどろきと、^{相のいかりをほめ子ために}かほしい気持ちにてりました。おれかのために、自分達のいのちを
さげさる事は、誰でもさる事はありません。おれか、権現堂があるのは、二人のあやげばのだと知って、
二人で行く相親に行平をわけて
おれかどろとさした
です。



お家で道德に関する読み物を読んだり、話し合っ
たりすることで家族での時間が有意義になれば幸い
です。ファミリーデーでは、たくさんのご協力ありが
とうございました。

埼玉県や幸手市では、独自の道德の読み物資料があり、以下のQRコードから読み取ることができます。
ぜひ、読んでみてください。



家庭用
彩の国の道德



彩の国の道德
「未来に生きる」



道德のまち
さって